

## 過去10年の知的財産に関するデータ

1. 我が国の技術貿易収支の推移
2. 我が国の企業における特許等の活用状況
  - (1) 国内における特許権件数及び利用率の推移
  - (2) 国内における意匠権件数及び利用率の推移
  - (3) 国内における商標権件数及び利用率の推移
  - (4) 知的財産活動費の推移
  - (5) 中小企業の特許出願状況
3. 特許審査に関する指標
4. 大学等の特許出願件数、特許等実施等件数及び収入額の推移

5 . 知財関連訴訟件数の状況

6 . 知的財産人財の推移

7 . 我が国の流通情報量の推移

8 . コンテンツ市場規模の推移

（1）コンテンツ市場の推移

（2）コンテンツ別市場規模の推移

（3）我が国のネットコンテンツのコンテンツ別市場規模の推移

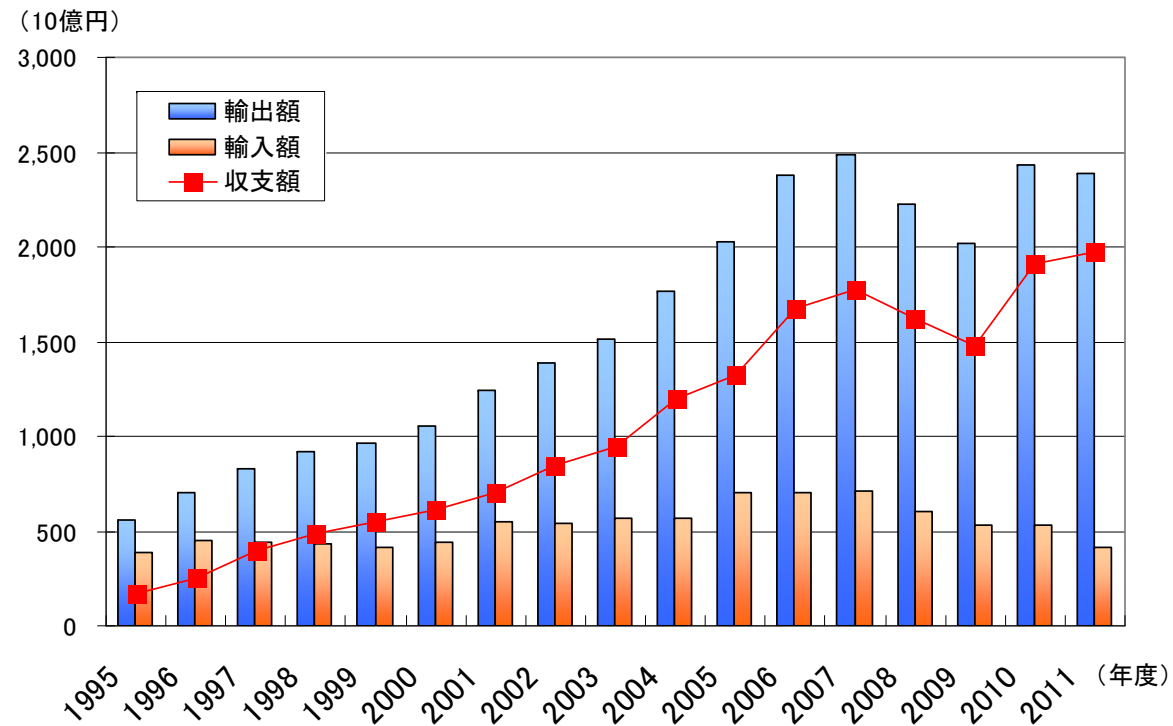
（4）電子書籍市場規模の推移

9 . JASRACにおける著作権信託契約数と使用料等徴収状況

10. 日本のコンテンツの海外展開状況

## 我が国の技術貿易収支の推移

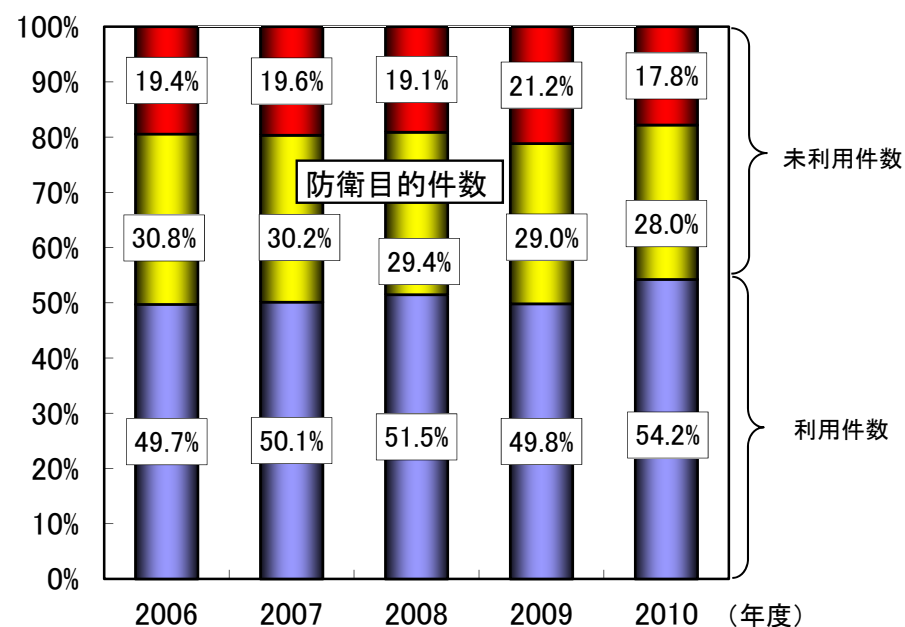
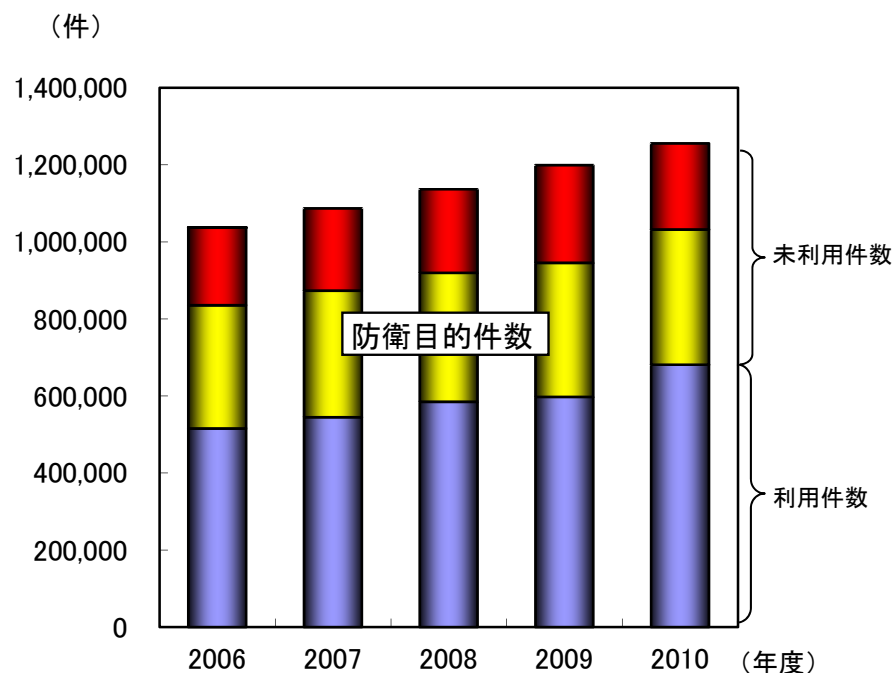
- 我が国の技術的優位性等を背景として、我が国の技術貿易収支黒字は拡大。  
年間2兆円規模に。



出典: 科学技術研究調査報告より作成

## 国内における特許権件数及び利用率の推移

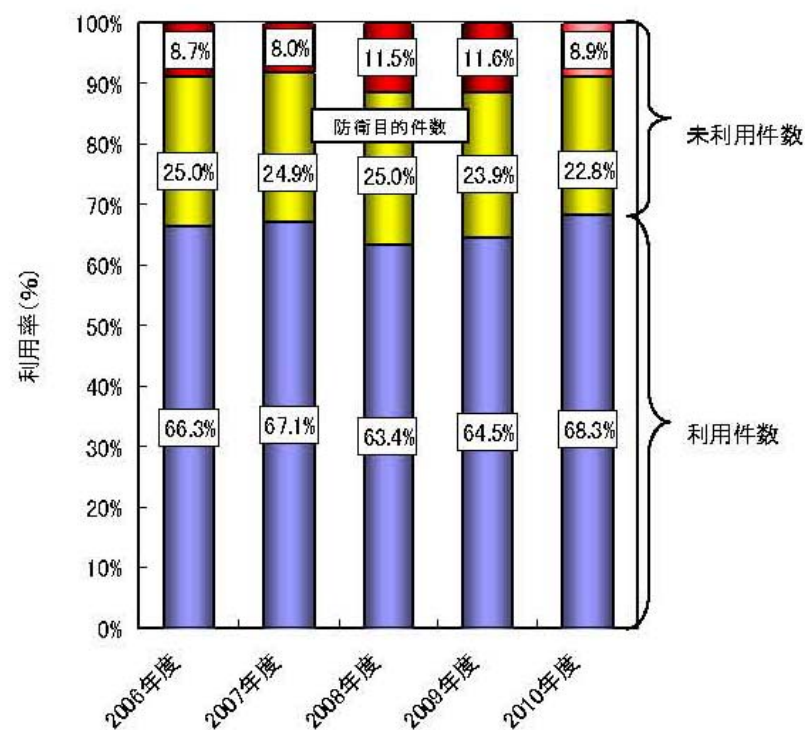
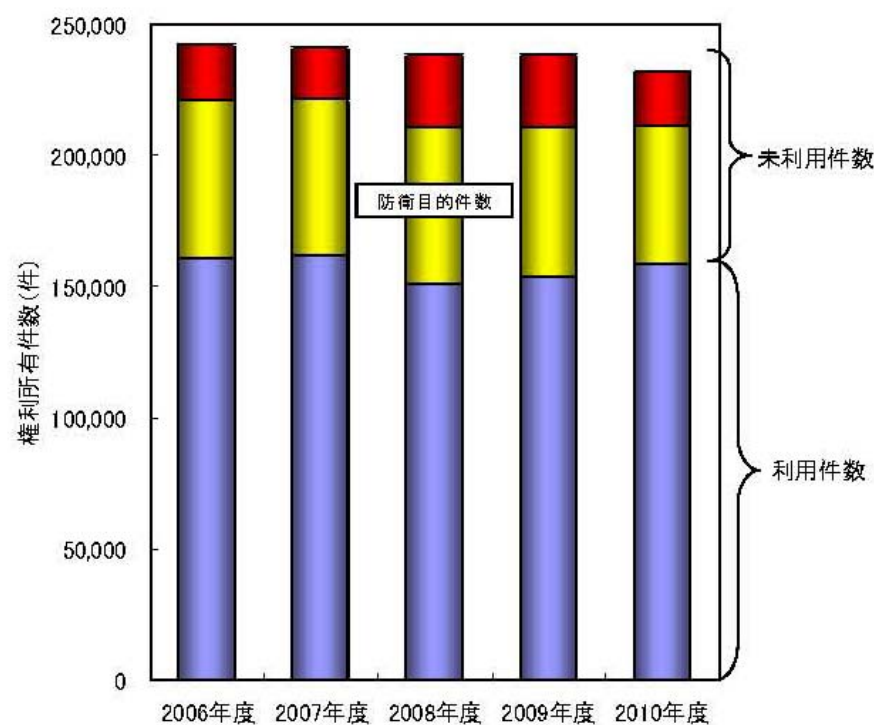
- 国内における特許権の利用率は概ね5割程度。
- 利用件数は増加傾向、利用率は概ね横ばい。



出典：特許庁 平成23年 知的財産活動調査結果の概要

## 国内における意匠権件数及び利用率の推移

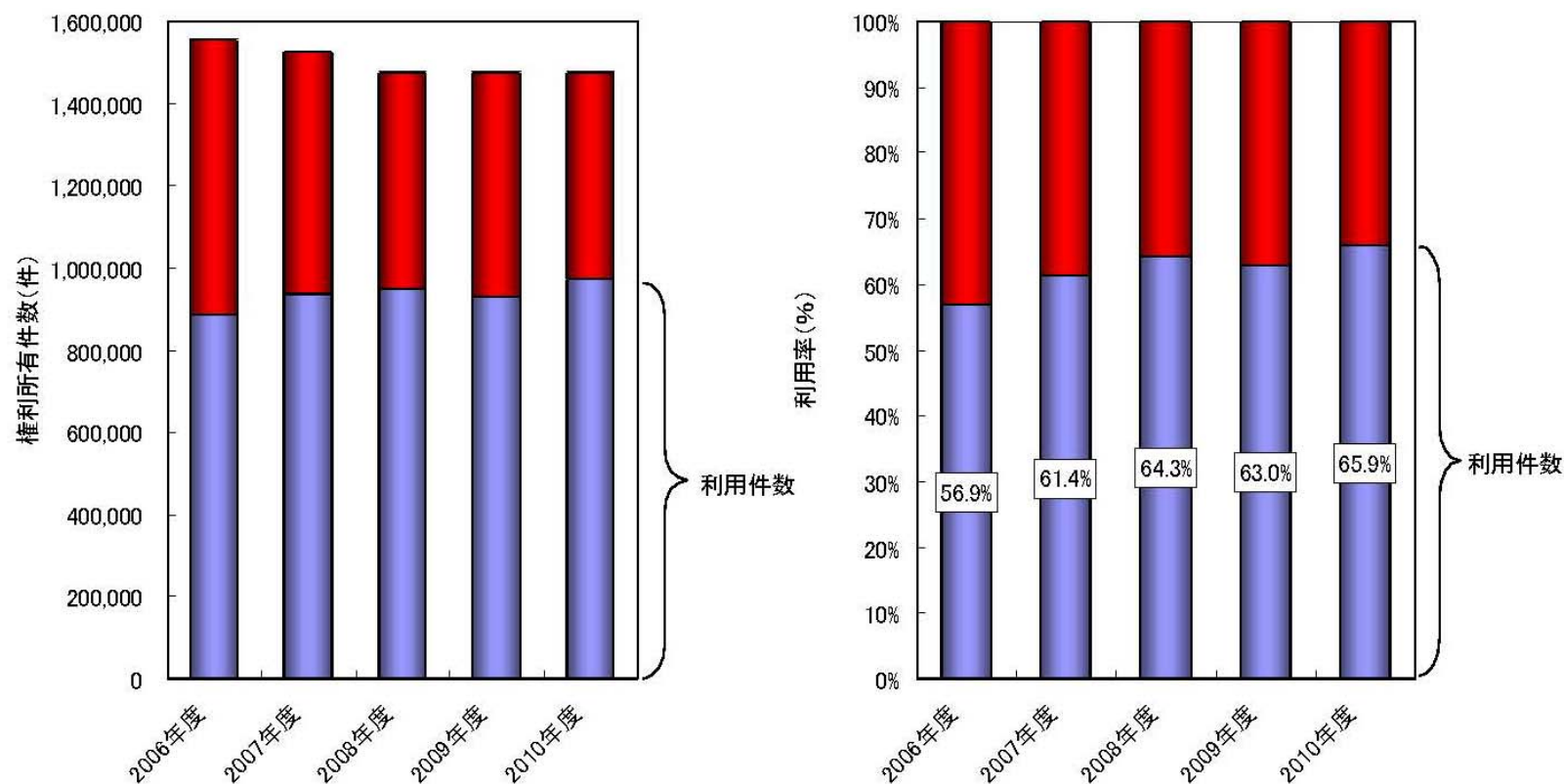
- 国内における意匠権の利用率は概ね6～7割程度。
- 利用件数、利用率ともに概ね横ばい。



出典:特許庁 平成23年 知的財産活動調査結果の概要

## 国内における商標権件数及び利用率の推移

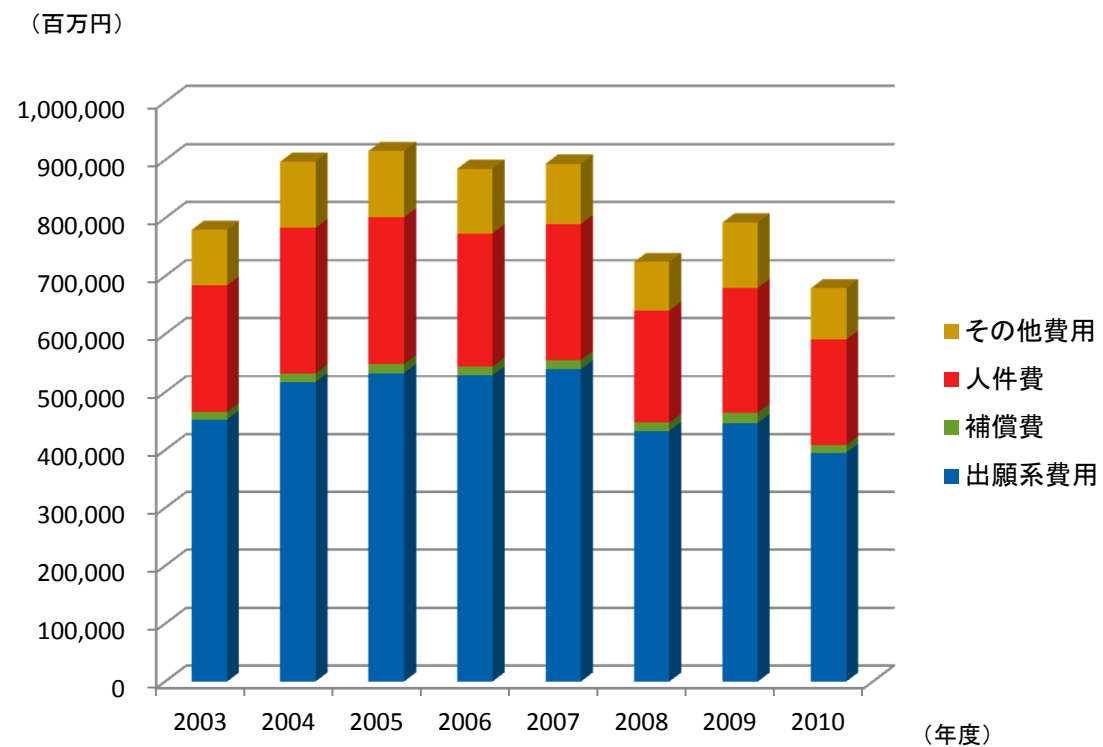
- 国内における商標権の利用率は概ね6割程度。
- 利用件数、利用率ともに増加傾向。



出典:特許庁 平成23年 知的財産活動調査結果の概要

## 知的財産活動費の推移

○ 我が国の知的財産活動費は減少傾向。

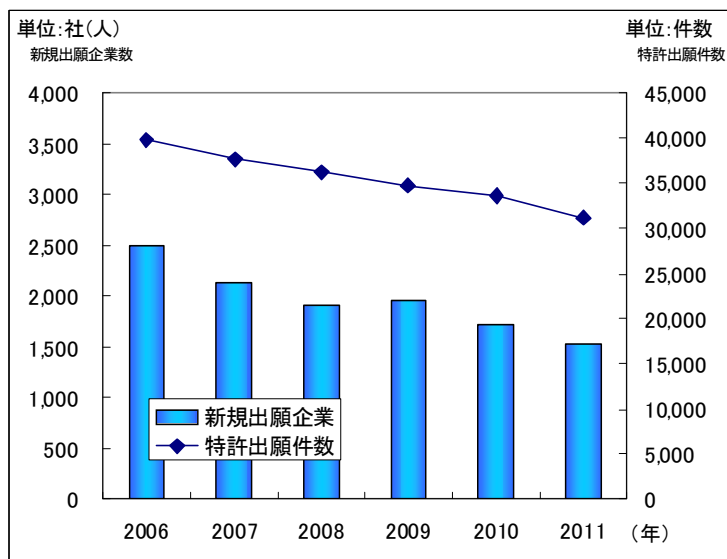


出典: 特許庁 知的財産活動調査報告書より作成

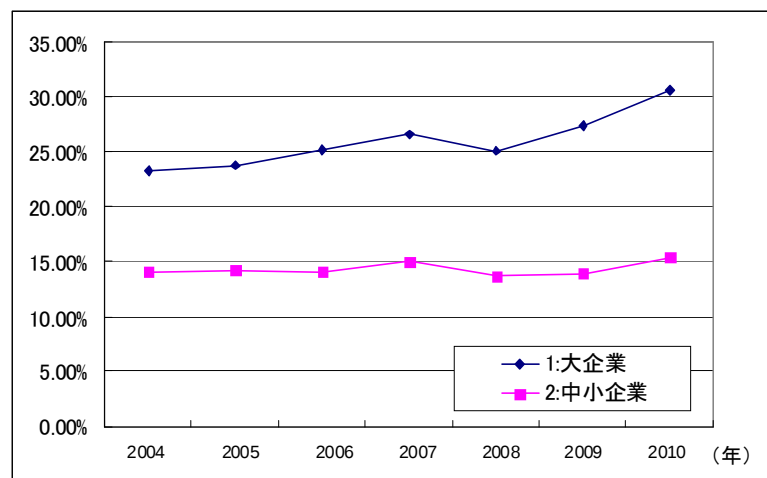
## 中小企業の特許出願状況

- 中小企業の特許出願が減少する中で、新規に特許出願する中小企業数も減少。
- グローバル展開の進展に伴い、大企業が特許の海外出願率を増加させる一方で、中小企業は微増にとどまる。

○新規に特許出願した中小企業数と特許出願件数の推移



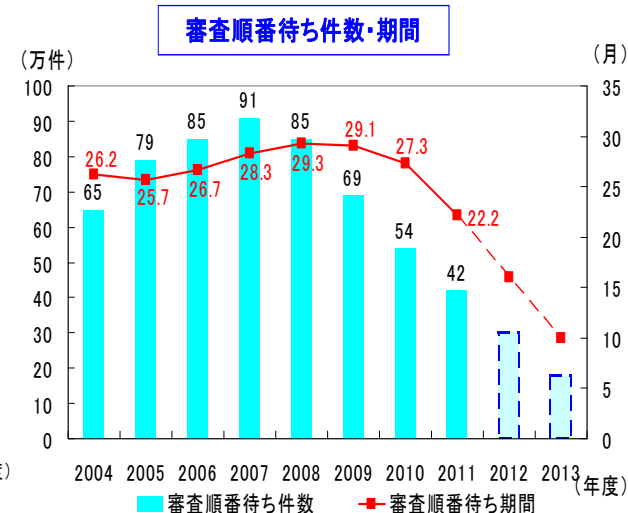
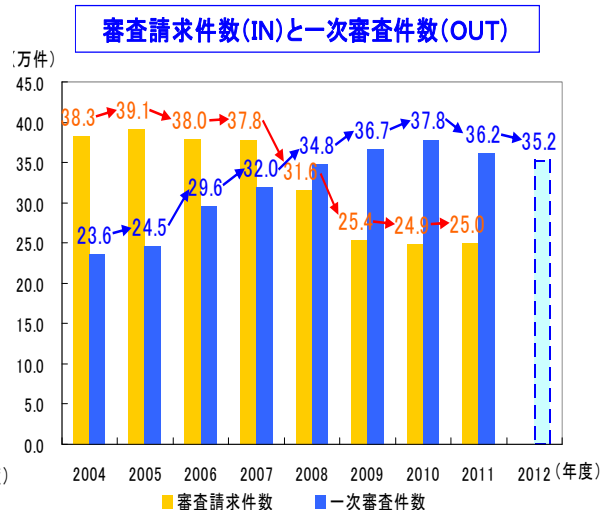
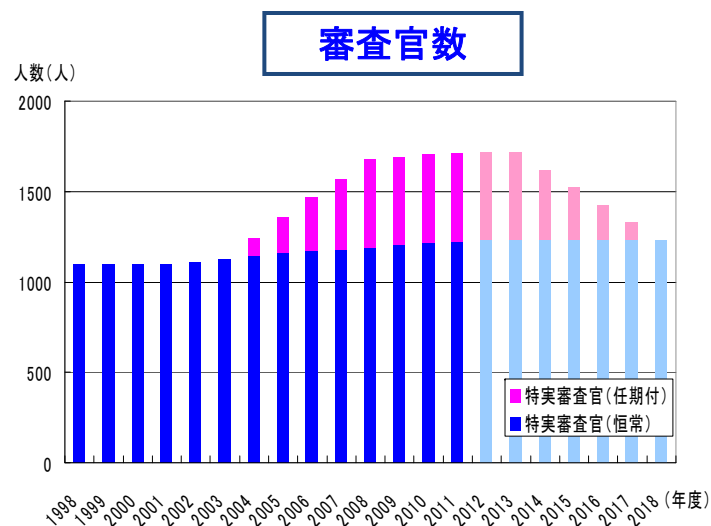
○大企業と中小企業の特許の海外出願率



「知財立国に向けた新たな課題と対応」(特許庁, 2012年6月)から抜粋

# 特許審査に関する指標

○ 任期付き審査官の採用、先行技術調査の外注の拡大等をはじめとした審査の迅速化施策により、審査順番待ち件数及び審査順番待ち期間は着実に短縮。

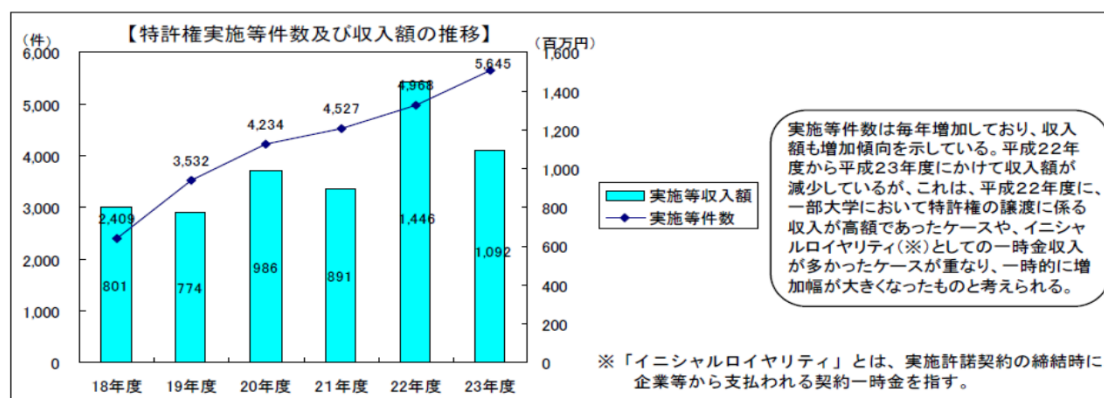
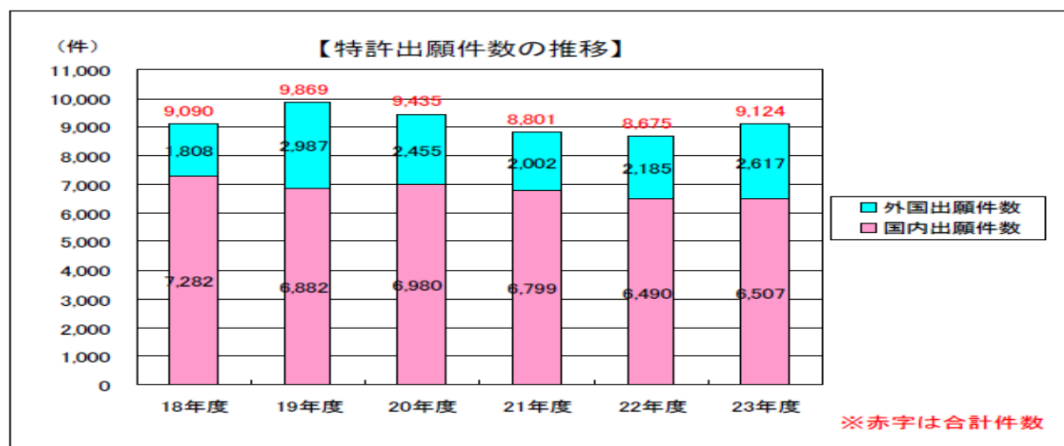


出典: 特許庁資料より作成

出典: 「知財立国に向けた新たな課題と対応」(特許庁, 2012年6月)

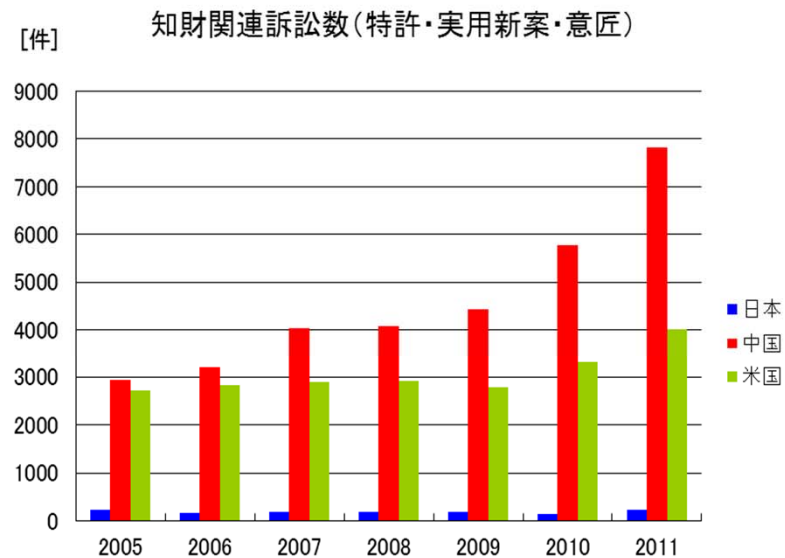
# 大学等の特許出願件数、特許等実施等件数及び収入額の推移

○ 大学等の特許出願件数は概ね横ばい、特許権実施等件数は増加傾向にある。



## 知財関連訴訟件数の状況

○ 米国や中国と比べ我が国の知財関連訴訟数は非常に少ない。



※ 米国には植物特許を含む。また、米国には実用新案制度がない

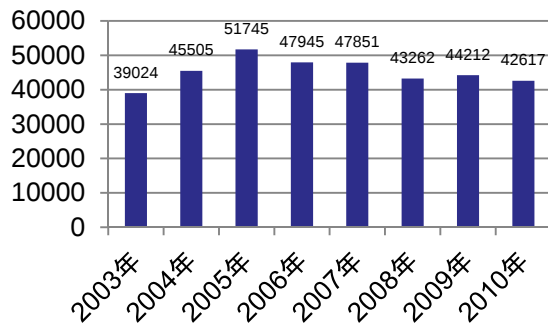
※※ 日本中国は1月～12月、米国は10月～9月

出典：「知的財産立国に向けた新たな課題と対応」（特許庁,2012年6月）。なお、2011年の日本のデータについては「平成23年度知的財産権関係民事・行政事件の概況」（最高裁判所事務総局行政局）に基づき知財事務局が作成

# 知的財産人財の推移

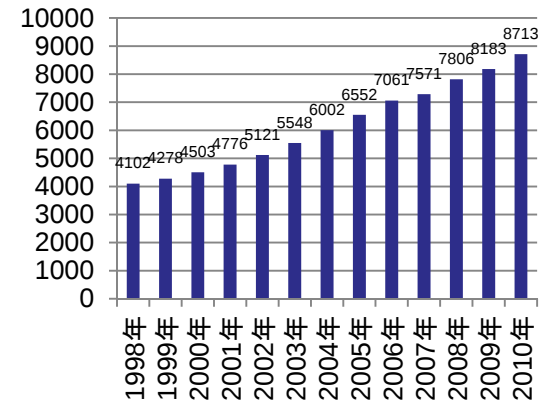
○ 弁理士数は増加しているものの、企業を中心として他のセクターにおいては、最近5年間で現状維持またはやや減少傾向にある。

企業等の知的財産担当者数の推移(全体推計値)



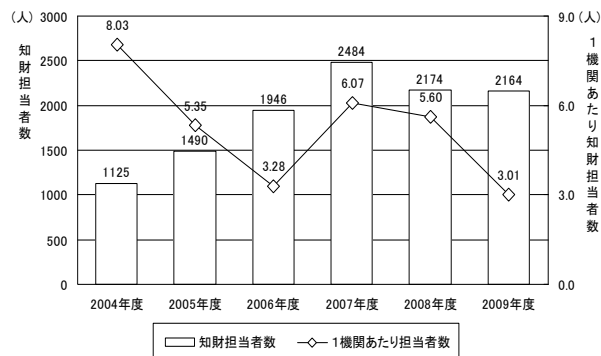
出所: 特許庁「平成23年知的財産活動調査報告」

弁理士数の推移



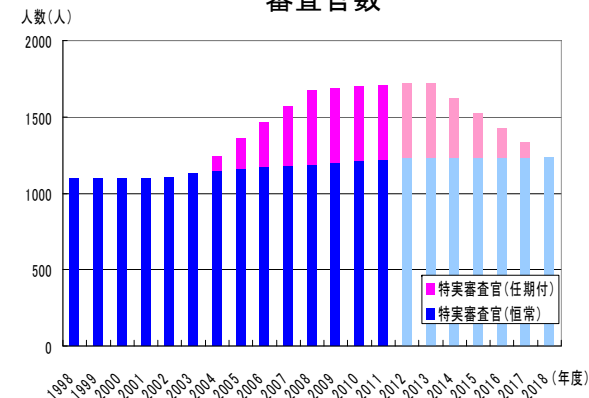
出所: 特許庁「特許行政年次報告書2011年版」に基づき作成

教育機関(大学等)・TLOの知的財産担当者数の推移



出所: 特許庁(2011)「平成22年知的財産活動調査報告書」

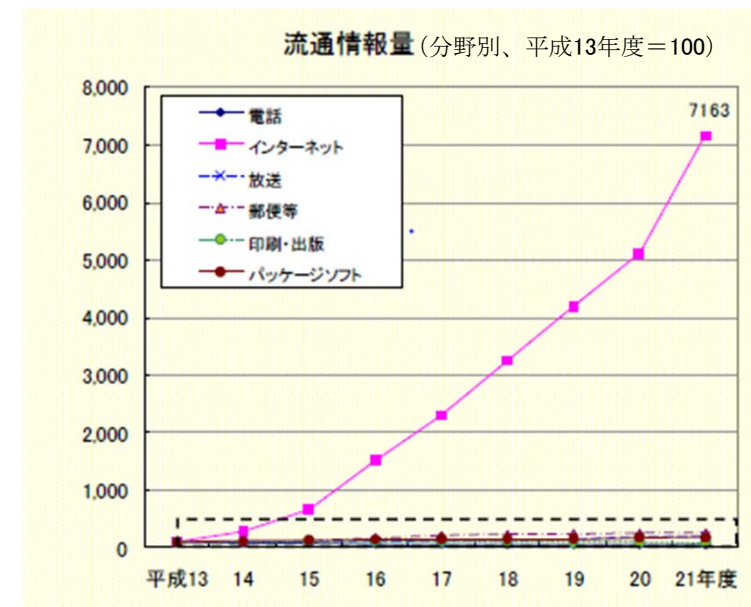
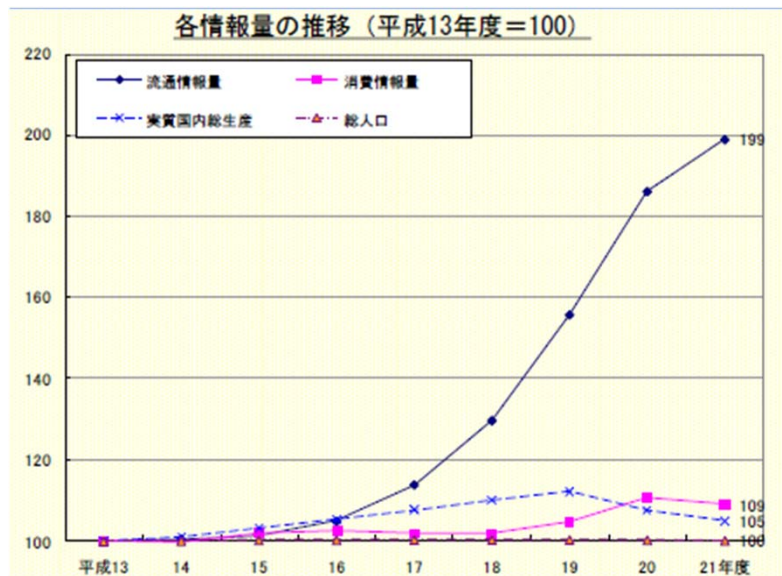
審査官数



出所: 特許庁資料に基づき作成

## 我が国の流通情報量の推移

- 我が国の流通情報量は、近年急速に拡大。
- メディアグループ別ではインターネットが8年間で約70倍に。



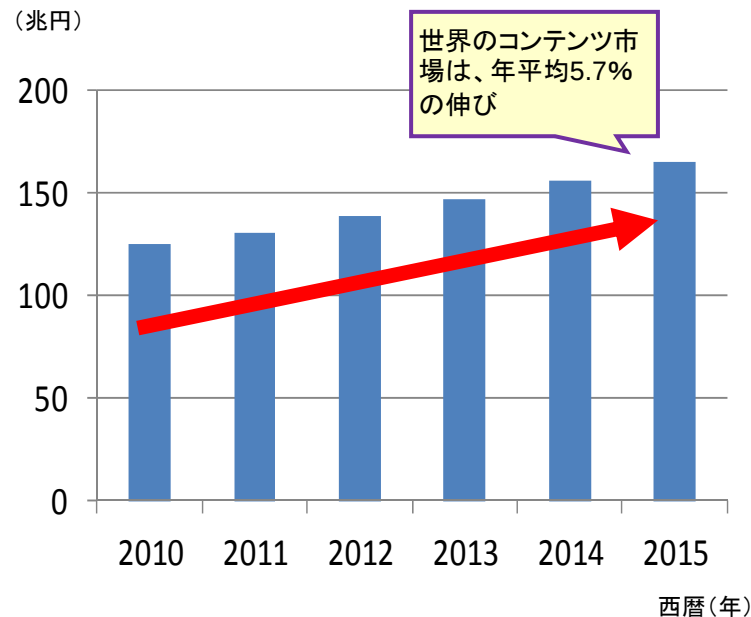
出典：総務省 我が国の情報流通市場の実態と情報流通量の計量に関する調査結果

## コンテンツ市場の推移

○ 世界のコンテンツ市場が伸びているのに対し、日本のコンテンツ市場は横ばい・縮小。

＜世界のコンテンツ市場＞

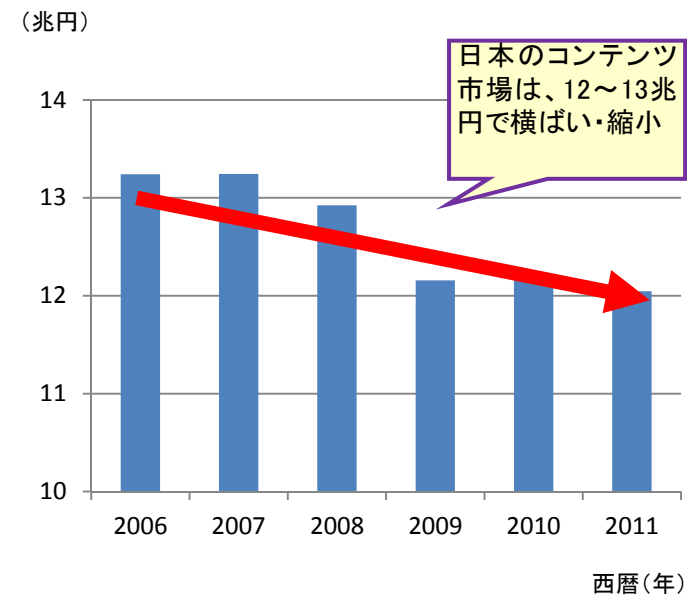
(2010年実績、2011年～2015年予測)



データ出典: 総務省資料

※上記は全て2010年の平均為替レート(1米ドル＝88.09円 財務省貿易統計より)で換算

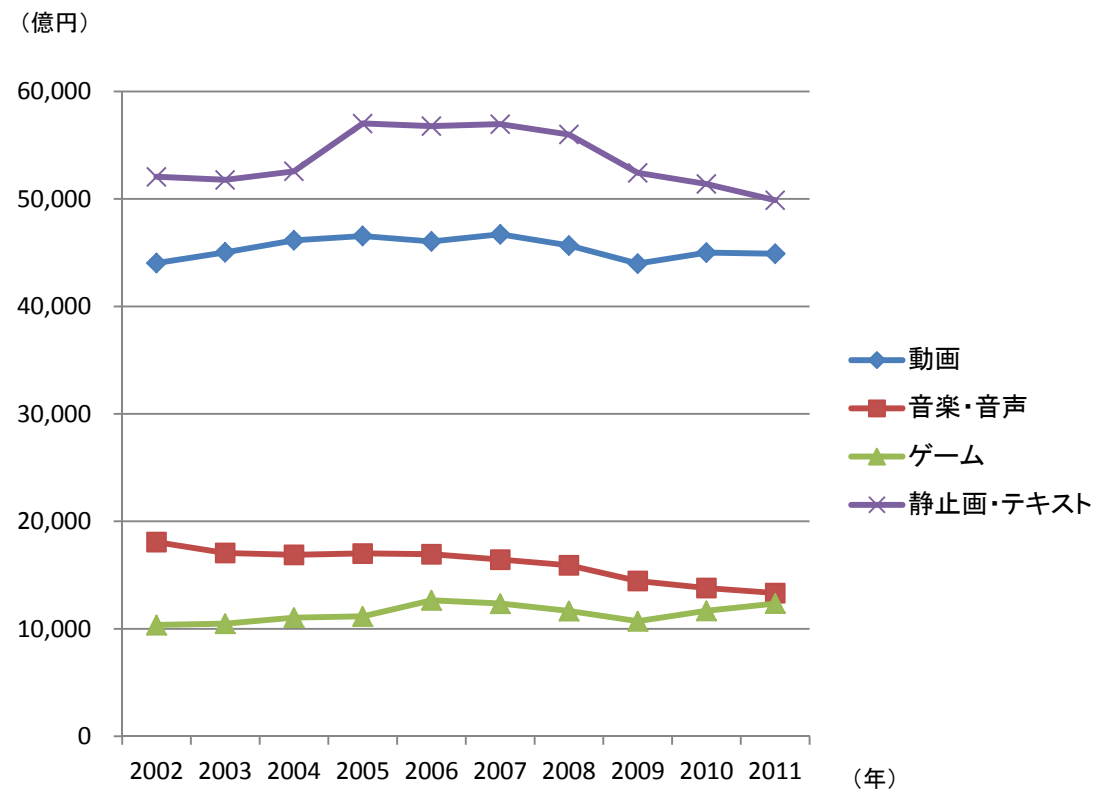
＜日本のコンテンツ市場＞(2006-2011)



出典: デジタルコンテンツ白書2012

## コンテンツ別市場規模の推移

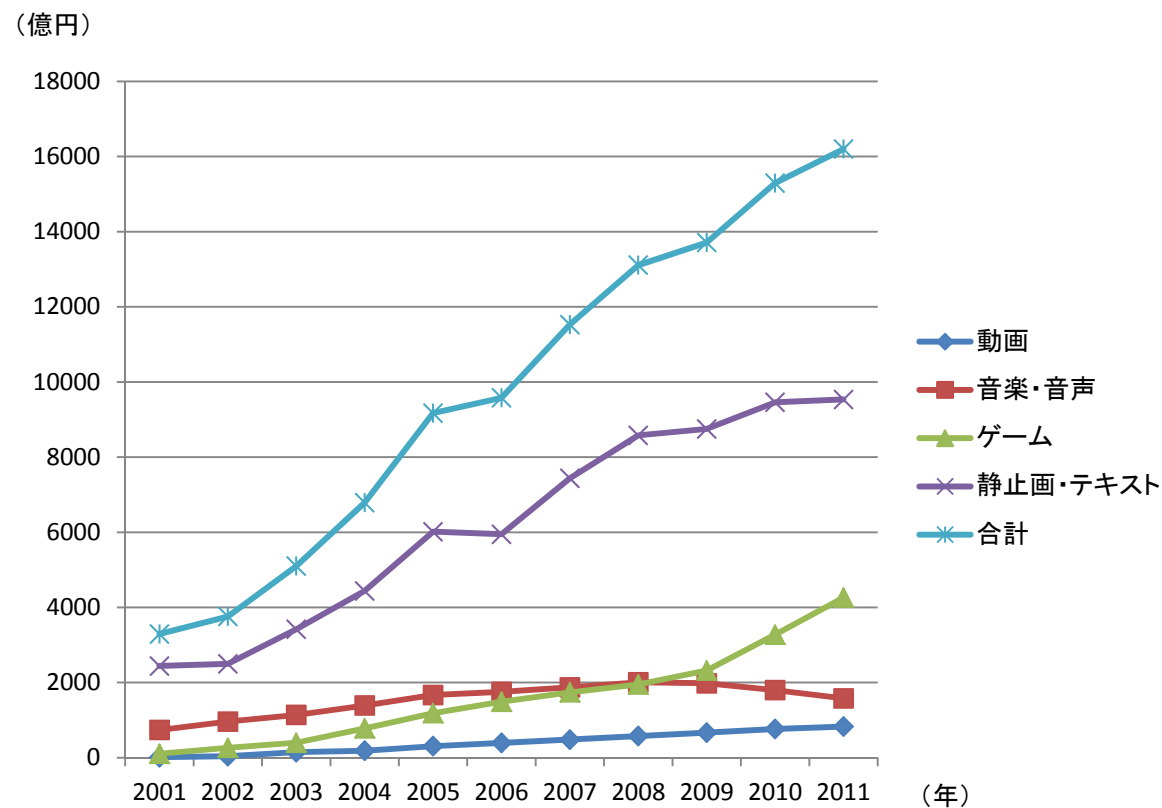
○ コンテンツ別市場規模について、すべての分野において概ね横ばい、縮小。



出典：デジタルコンテンツ白書2012より作成

## 我が国のネットコンテンツのコンテンツ別市場規模の推移

- 我が国のネットコンテンツビジネスの市場規模は、近年急速に拡大。  
10年間で約5倍、1.6兆円規模に。

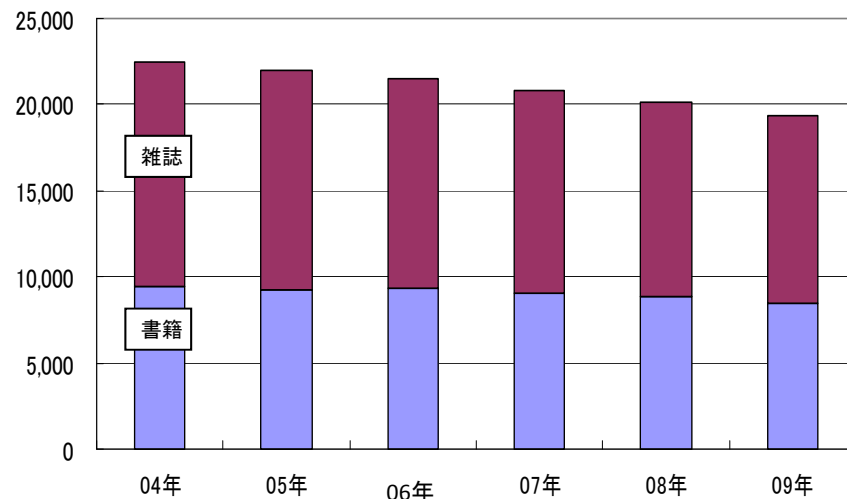


出典：デジタルコンテンツ白書2012より作成

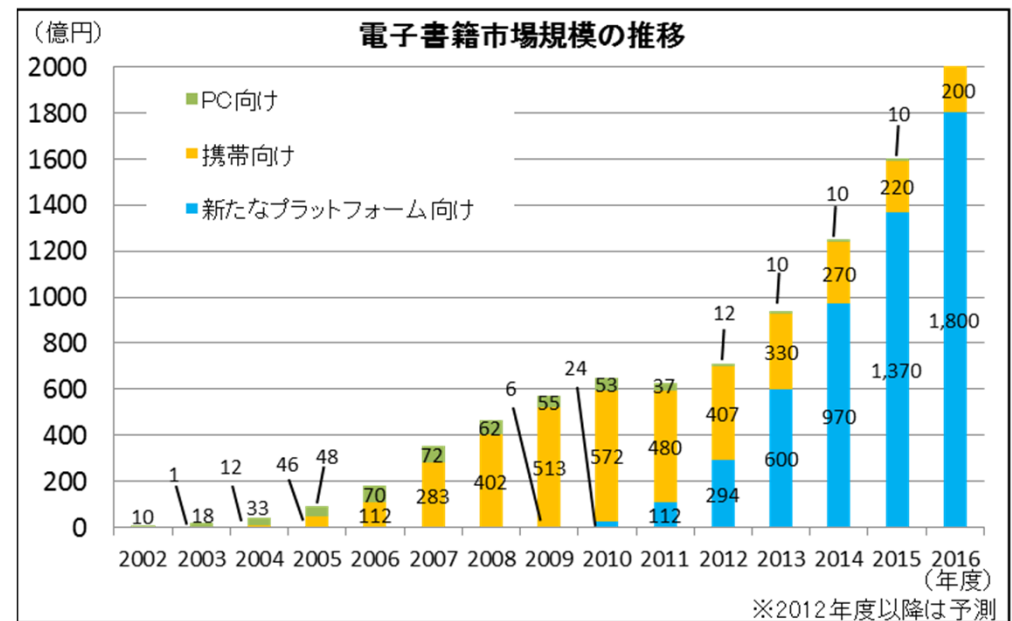
# 電子書籍市場規模の推移

○ 書籍・雑誌の推定販売額は減少傾向であるのに対し、電子書籍市場規模は急速に拡大。

出版物推定販売額推移(億円)



出典: 出版指標年鑑



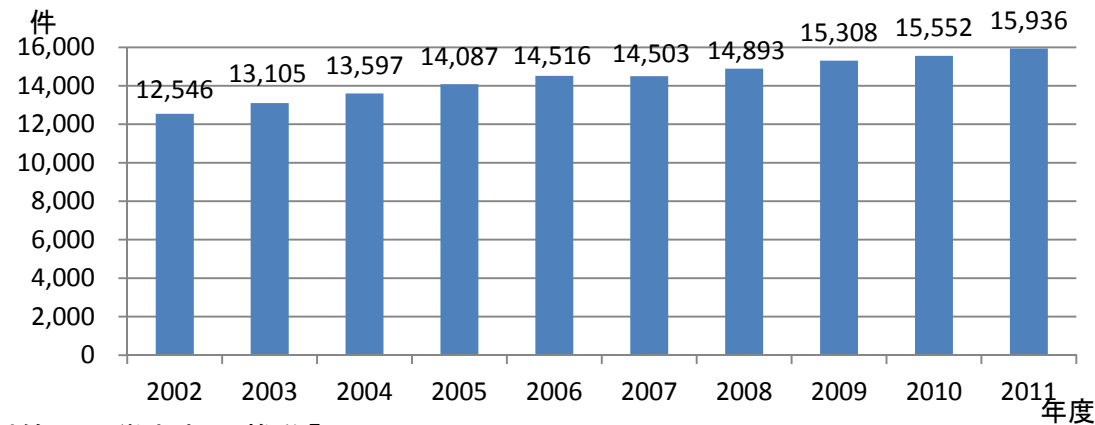
出典: 電子書籍ビジネス調査報告書インプレスR&D

# JASRACにおける著作権信託契約数と使用料等徴収状況

○JASRACの著作権信託契約数は微増、使用料等徴収額は概ね横ばい。

## 【JASRACの著作権信託契約数(※)の推移】

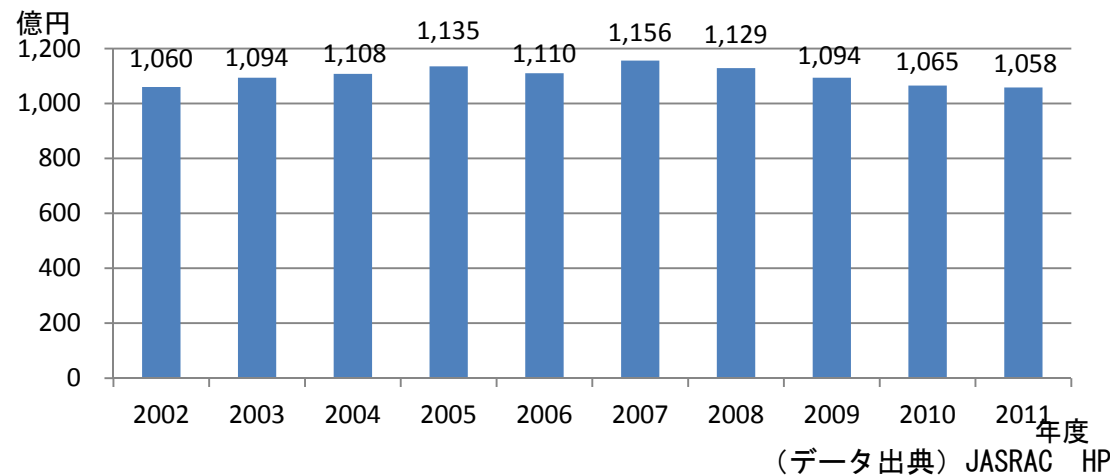
(※)委託者(作詞家・作曲家・音楽出版者など)との契約



## 【JASRACの使用料等(※)徴収額の推移】

(※)音楽著作権使用料、私的録音録画補償金の分配額

(データ出典) JASRAC HP

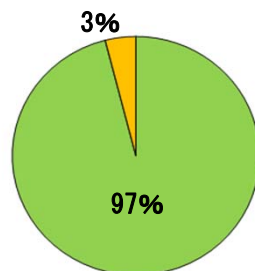


# 日本のコンテンツの海外展開状況

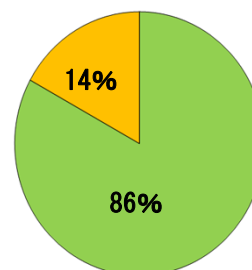
○ コンテンツ分野における我が国の海外収入比率は低い。

【日・米におけるコンテンツ収入の割合】

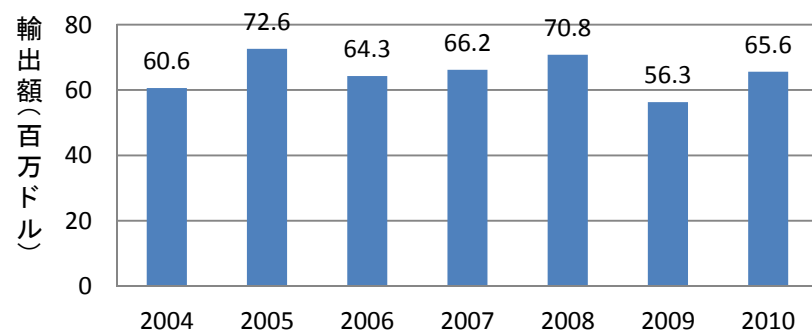
日本(2010)



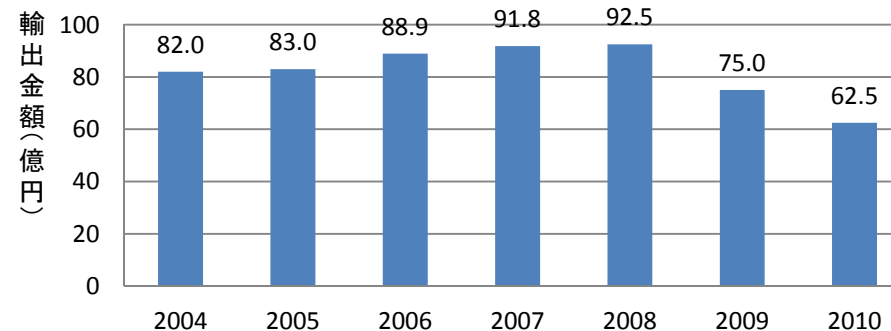
米国(2008)



【映画輸出合計金額】



【地上テレビ番組輸出金額】



※一般社団法人日本映画製作者連盟(映連)加盟社とそのグループ会社が、日本映画関連の権利(映画・テレビ映画の海外配給権、海外上映権、リメイク権、海外放送権、海外二次利用権、映画・テレビキャラクター商品化権)を利用して得た収入を集計。

(データ出典) 一般社団法人日本映画製作者連盟

(データ出典) 情報通信政策研究所「メディア・ソフトの製作及び流通の実態」